七日分をいっぺんに……

一日一字のペースでも、これを確実に、毎日一宇ずつ与えていくやり方と、一週間分をいっぺんに与えて、一週間ごとにこれを進めていくやり方が考えられます。

幼児がかなを覚えるための玩具として、市販されているものに“文字板”があります。犬の絵の裏に“い”という文字があり、馬の絵の裏に“う”という文字がある、というものです。

これは、漢字学習に利用できます。“い”の上に紙を貼り付けて“犬”という漢字を書き入れ、“う”は“馬”という漢字に改めればよいのです。

こういう文字板を、一週間に一度、いっぺんに七枚与えてしまうのです。それで、一週間の間に、七枚の文字板を繰り返して見ている間に、これらの七字の漢字をみな覚えてしまうことを期待するものです。

「この字は何という字だろう」と思って、裏返してみれば絵があるのですぐに解る。こういうことを繰り返してやっていれば、幼児は自然に漢字を覚えることでしょう。これは、幼児が独りで覚えるのに適した方法です。

とは言うものの、それだけでは不十分です。時々、お母さんが、文字板の文字の面を表にして並べてやり、お母さんの読んだ文字をその中から拾わせることをして下さい。カルタ取りのようにして遊ぶのです。

「はやいね」「よく取れるね」と賞めてやりますと、得意になって張り切ってやることでしょう。そうなれば、読めない字も早く覚えて読めるようになります。

一週間たって、次の七枚を与える時は、前の七枚は回収した方がよろしい。しかし、その週の終わりごろに、前の七枚と一緒にして十四枚で遊ばせることも必要です。時々そういうことをしないでいると、忘れてしまうということもありますが、「覚えているものを読む」という、そのことに大切な意義があるからです。